

尾道市の財政状況をお知らせします

令和3年度決算（見込み）

財政課（☎0848-38-9323）

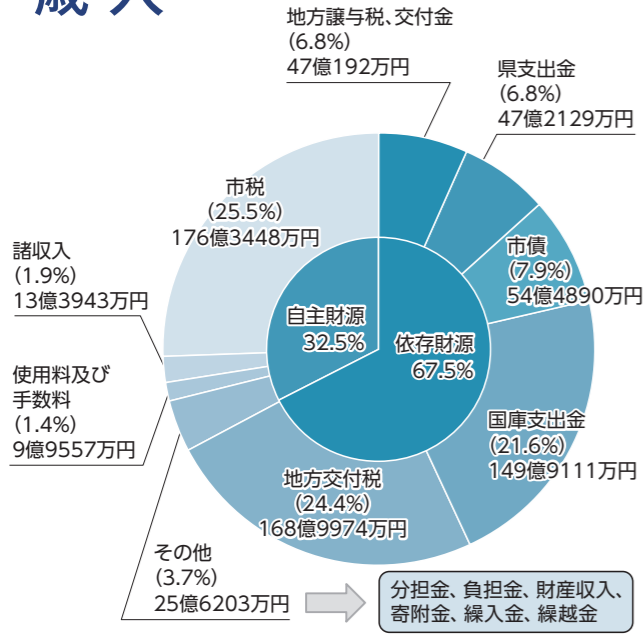
※表示未満の端数を四捨五入しているため、金額・構成比は合計値に合致しない場合があります。

一般会計決算（見込み）

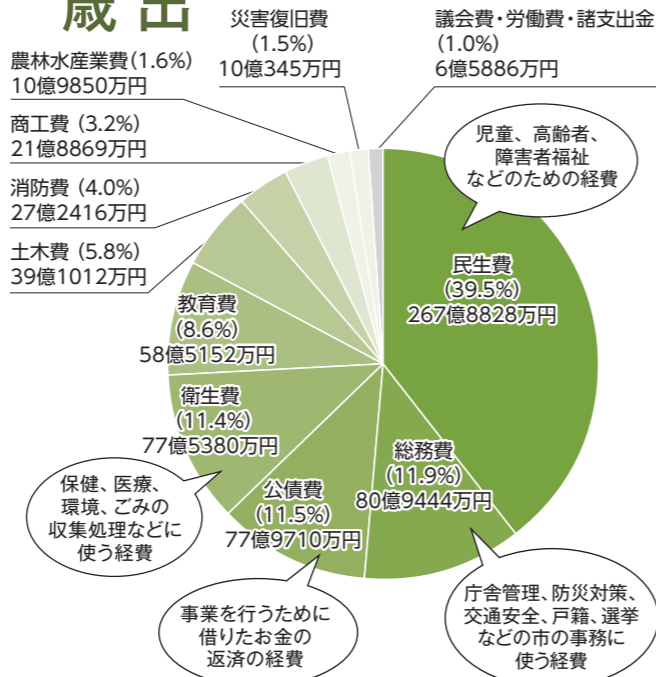
福祉や教育、道路整備など市民生活に直接関係する事業を行う会計です。

歳入 692億9446万円 - 歳出 678億6892万円 = 差引 14億2554万円
(前年度比 +5億710万円)

歳入



歳出

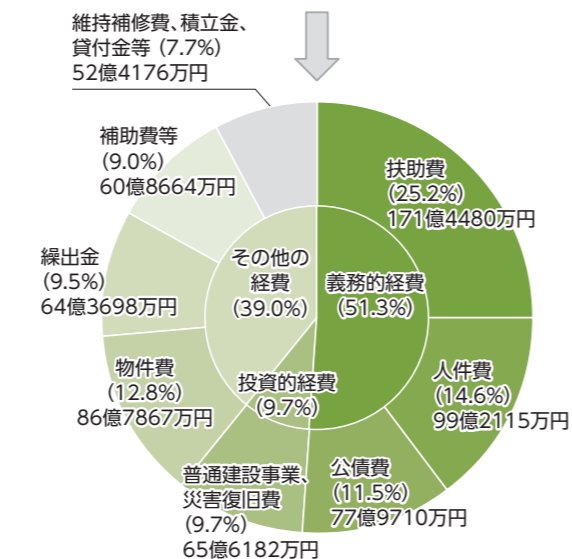


歳入は、地方交付税などの増加はありますが、市税や地方債、新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金の減少の影響などにより、前年度と比較して**87億8705万円減少**しています。

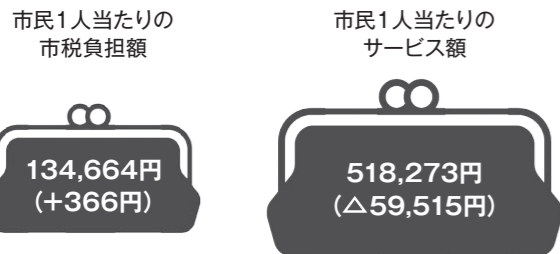
自主財源の柱となる市税収入は176億3448万円で、固定資産税や個人市民税などの減少により、3億89万円減少しています。

歳出は、子育て世帯・住民税非課税世帯等に対する給付金給付事業などの増加はありますが、定額給付金給付事業の減少などにより、前年度と比較して**92億9415万円減少**しています。

歳出を性質別に見てみると…



市民の負担とサービスの状況



市税のほかに国や県からの補助金などを活用して、行政サービスを実施しました。
※（ ）内は、前年度比。
※令和4年3月末住民基本台帳人口130,952人で計算

令和3年度の予算は主にこのように使われました

新型コロナウイルス感染症対策事業	
市民生活支援	40億5573万円
感染拡大防止	20億3104万円
雇用・経済継続	4億8260万円
その他	1億5200万円



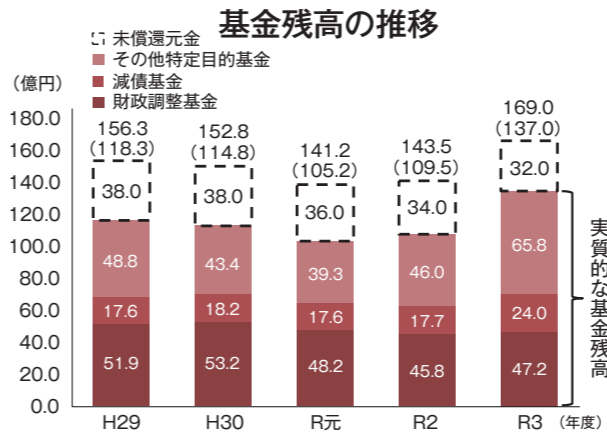
デジタル防災無線整備事業
6億9675万円



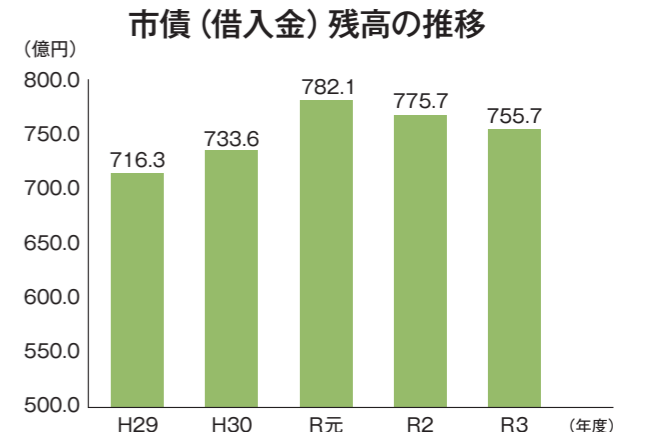
千光寺公園頂上エリアリニューアル事業
4億1211万円

私たちのまち“尾道”の財政状況を見てみましょう

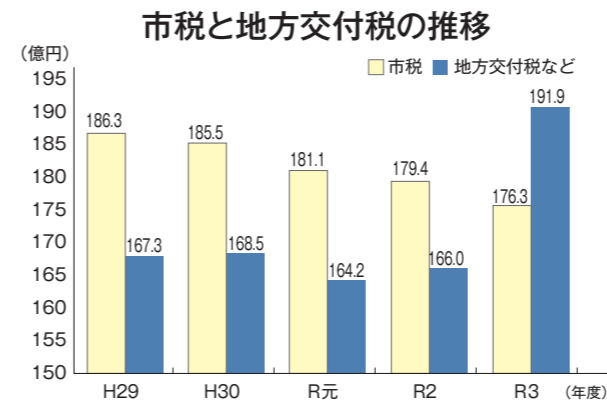
※普通会計の数値で作成しています。



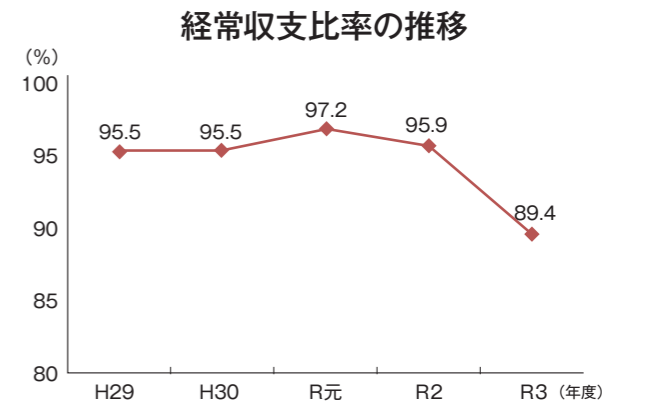
令和3年度末現在 基金残高 168億9673万円
市は災害や市税収入の減少などに備えて基金を積み立てています。基金残高は、前年度より25億4697万円増加しています。※地域振興基金（40億円）のうち、38億円は合併特例債の借入により積み立てているため、未償還元金を除いた額を実質的な基金残高（棒グラフ上部カッコ内の数値）として表示しています。



令和3年度末現在 市債残高 755億6965万円
大規模事業のための借入の減により、市債残高は前年度より20億188万円減少しています。



令和3年度 市税 176億3448万円
地方交付税など 191億8924万円
市税収入は、固定資産税や個人市民税などの減により減少しましたが、地方交付税など（実質的な地方交付税として臨時財政対策債を加えたもの）は増加しました。



令和3年度 経常収支比率 89.4%
家計でいえば、毎月得られる給料などのうち、食費・光熱水費・ローンの返済など毎月決まって支払う生活費が占める割合のことです。数値が高いほど財政にゆとりがなく硬直化していることを表します。令和3年度は89.4%で、前年度より6.5ポイント改善しました。

用語の説明

普通会計	他市との財政比較を行うための統計上の会計。尾道市では、一般会計に港湾事業特別会計、夜間救急診療所事業特別会計を合わせたもの。
市税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
地方交付税	自治体の財政状況に応じて交付される国からの財源
臨時財政対策債	国税収入が減少し、普通交付税を配分する財源が不足した場合、その不足分を補うために発行する市債
市債	事業を行うために国や金融機関から借り入れたお金